

## 環境に関する統計の整備に係る課題の明確化について

### 1. 基本的な考え方の明確化に向けた確認結果について

重点審議事項である「環境に関する統計の整備に係る課題の明確化」については、基本的な考え方を取りまとめた際の審議に立ち返り、当該事項に関する提案を行った審議協力者にヒアリングを行うとともに、当該課題に関する関係省庁での具体的な取組状況を聴取し、次期基本計画に向けた考え方の整理を行った。

#### 基本的な考え方作成時の問題意識

現時点の総合エネルギー統計は産業分類が粗く、産業連関表の部門とも異なっている。

産業連関表の部門と整合的になるような細かい産業分類での表章が可能になれば、環境分野分析用産業連関表の作成に役立ち、環境分野産業連関表の精度が上がれば、関連する経済統計と連携した分析も容易になる。

#### 具体的な提案の意図

- ・ 総合エネルギー統計に組み込む基礎データの整備、環境分野分析用産業連関表の部門別投入データの把握に取り組み、両統計の精緻化を進めた上で、さらに両統計間の連携を図ることにより概念や数値を整合的にする。
- ・ 環境分野分析用産業連関表の整備を促進するため、総合エネルギー統計の推計で用いている細かな概念を環境分野分析用産業連関表の推計にも反映させることが重要である。
- ・ この取組を進めることにより、結果として産業連関表との連携が図られる。
- ・ 国民経済計算は、産業連関表と整合的になればつながるので、直接この取組の対象としては考えられていない。

#### 関係省庁の対応状況

- ・ 環境分野分析用産業連関表の作成においては、このところ環境省及と資源エネルギー庁の間で、意見交換は行われてこなかったが、今回の対応をきっかけに情報交換を行うこととなった。
- ・ 総合エネルギー統計の産業分類の細分化については、経済産業省特定業種石油等消費動態調査とエネルギー消費統計調査を組み込むことにより対応することを検討中。総合エネルギー統計の対応結果を、今後作成する環境分野分析用産業連関表に反映させることを検討予定。

## 2. 今回諮問された基本計画案における対応について

1. を踏まえ、諮問案の「第2-2-(1) 環境に関する統計の整備」において、該当する事項の対応案を以下とおり整理した。(注：下線部が修正箇所。)

対応の考え方	<p>「エネルギーに関する環境統計と加工統計間の連携に関する取組」は、個別課題を進めた上で、取り組む課題であり、個別課題については現在の諮問案に既に含まれているものと考えられる。個別課題を実施する際に、加工統計間の整合が図られるため、連携部分は継続的な取組となり、この考え方を方針として日々改善に取り組むものであることから、本文のみに記載し、別表から削除する。</p> <p>なお、当該課題の個別の別表については、環境分野分析用産業連関表に「関係府省の協力」の記述を加える。</p>
本文諮問案	<p>また、<u>エネルギーの取扱いに関する環境関連統計として、総合エネルギー統計、産業連関表、国民経済計算などの概念及び数値が整合的となるように加工統計間の連携を図る。</u></p>
本文修正案	<p>また、<u>環境分野分析用産業連関表の整備を促進するために、総合エネルギー統計、産業連関表などの概念及び数値の整合的な分析が可能となるよう、加工統計間で連携を図る。</u></p>
別表諮問案	<p><u>エネルギーの取扱いに関する環境関連統計として、総合エネルギー統計、産業連関表、国民経済計算などの概念及び数値が整合的となるように加工統計間の連携を図る。</u></p>
別表修正案	<p>【本文の明確化に向けた修正を行い、別表は削除。】</p>
別表諮問案	<p>エネルギー消費統計については、総合エネルギー統計への組み込みに向けて、これまで行ってきた検討により明らかとなった問題点、課題等の解決に取り組むとともに、引き続きデータの精緻化を図る。</p>
別表修正案	<p>【修正なし。】</p>
別表諮問案	<p>平成23年環境分野分析用産業連関表の作成において、平成17年表で精度が不十分であった部門別投入量等の把握を行うなど、課題の解決方法を検討する。</p>
別表修正案	<p>平成23年環境分野分析用産業連関表の作成において、平成17年表で精度が不十分であった部門別投入量等の把握を行うなど、課題の解決方法を関係府省の協力を得ながら検討する。</p>